

李登輝台湾元総統 追悼オンライン講演会 開催のご案内



東京開催：10/18（日）13:00～18:00
台北開催：11/7（土）13:00～18:00

2020年7月30日、一人の偉大な政治家がこの世を旅立ちました。
李登輝（りとうき）台湾元総統です。

この偉大な政治家は、台湾人として初めて台湾総統に就任した後、台湾に最初の国民直接選挙（総統選挙）を導入、自ら総統に選出されました。

そして、この偉大な政治家が行った6度の憲法改正により、台湾は、一滴も血を流すことなく民主化に成功することができました。

その手腕を評価する声は台湾国内にとどまらず、「ミスター・デモクラシー」「哲人政治家」と世界中から絶賛されました。

日本においても、政財界をはじめ各方面から高い尊敬を集め、2015年7月に李総統が来日し、衆議院第一議員会館で講演を行った際には、当時元文部科学大臣だった下村博文氏が「空前絶後」と述べたほどの反響がありました。

李総統の講演を聴くために、ダライ・ラマ法王が講演した時の約2.5倍になる約300名もの国会議員が一堂に会したのです。

李総統が遺した偉業の大きさは、決して台湾だけに留まるものではありません。
とりわけ日本人にとっては、極めて重要です。

なぜなら李総統自身が生前、

「私の人生に一番影響を与えたのは、日本時代の教育だった」
「後藤新平は指導者としての先生。新渡戸稲造は人生の先生」

と延べているように、

また、李総統の座右の銘である「我是不是我的我」（私は、私ではない私）という考えに至る過程で大きく影響を与えたのが日本の武士道であったと告白しているように、

李総統が遺した偉業の背景には日本の精神文化、李総統をはじめ日本統治時代を生きた台湾人の方々が好んで用いる「日本精神（リップンチェンシン）」が色濃く影響しているからです。

それはすなわち、我が国日本が長きに渡る停滞を脱し、再び台湾の方々が憧れるような国として再興するためにも、もっと言えば日本人が日本人であることを取り戻すためにも、李総統の偉業・哲学・生き様・精神に学ぶことは、日本人にとって決定的に重要なのです。

いみじくも司馬遼太郎氏が、「李登輝さんは日本人の理想像にちかい人」と述べているように、李総統以上に「日本人らしい」人物は他にはいないでしょう。

そして李総統は、ずっと日本に期待していたのです。

日本人が日本人であることを取り戻すことを。そして台湾と日本が再び深い絆で結ばれることを。

その遺志を継ぎ、日本と台湾の希望溢れる未来を創造するために、李総統を最もよく知る6名の講師をお招きし、日本と台湾から2日程に分けて放映を行うオンライン講演会を開催します。

生前の李総統とのエピソードを交えながら、李総統が私たちに遺してくれたものが何か、李総統から日本人が学ぶべきこと、李総統から日本人へのメッセージについて存分にお話し頂きます。

オンラインですから、世界中どこからでもインターネットを通して聴講頂けます。

是非、この講演会で本物の日本人とは何か、今私達が果たすべき役割が何かを学んでください。

※「どうしても日程が合わないが聞きたい」というご要望が多いため、講演翌日から5日間に限り収録映像を配信しますが、最大限、日程をご調整の上当日のご参加をお願いいたします。

※11月7日の台北オンライン講演につきましては、生放送ではなく収録映像の配信となります。

株式会社リアルインサイト 代表取締役 鳥内 浩一

【東京オンライン講演：10/18（日）13:00～18:00 参加費 5,000 円（税込）】

第1部 基調講演 台北駐日経済文化代表処 謝長廷代表（駐日台湾大使）

第2部 講演 産経新聞論説委員・『李登輝秘録』著者 河崎眞澄先生

第3部 講演 元参議院議員 PHP 総合研究所元社長 江口克彦先生

第4部 対談・Q&A セッション 河崎眞澄先生・江口克彦先生

[東京オンライン講演（10/18）お申込はこちら](#)

【台北オンライン講演：11/7（土）13:00～18:00 参加費 5,000 円（税込）】

第1部 講演 台湾加賀屋元支配人 徳光重人先生

第2部 講演 台湾在住作家 片倉佳史先生

第3部 講演 李元総統秘書・『李登輝 いま本当に伝えたいこと』著者 早川友久先生

第4部 対談・Q&A セッション 徳光重人先生・片倉佳史先生・早川友久先生

[台北オンライン講演（11/7）お申込はこちら](#)